

長門の話題

Topics



愛される施設になるように 「プロジェクトM20000」リニューアルオープン

4月2日(月)、旧J A長門大津仙崎支所跡地で金子みすゞモザイク画「プロジェクトM20000」がリニューアルされました。これは、「みすゞのまちづくりの拠点施設にする」として市が旧J A長門大津仙崎支所の土地建物を購入し、店舗部分を耐震性・安全性に重視して改修。「プロジェクト

M20000」が展示されている倉庫部分については建て替えたものです。

施設内のモザイク画は改修前の状態を再現し、正面には、イラストレーター尾崎眞吾氏による金子みすゞの肖像画、駐車場側の壁面には巨大モザイクアートの縮小版がプリントされています。



▲プロジェクト M20000 は改修前と同じ状態で再現

▼テープカットのようす



市内の小中学校で入学式

期待と希望を胸にスタート

4月9日(月)、市内の小中学校で入学式が行われました。

油谷小学校では、男子12人女子9人、計21人の新入生が在校生や保護者からの温かい拍手の中、体育館に入場しました。山本幸範校長は「朝起きるときや歯を磨くときなど自分でできることは一人でやってみる、みんなと仲良く

する、先生の話はしっかり聞く、という3つのことに気をつけて学校生活を送りましょう」とあいさつをしました。

続いて、在校生を代表して6年生の廣瀬敬士くんが「仲良く元気に過ごしましょう」と歓迎の言葉を贈りました。

今年度市内では、小学生253人、中学生338人が入学しました。



俵山しゃくなげ園で3万本達成記念植樹

大きく丈夫に育つて

4月14日(土)、俵山しゃくなげ園で3万本達成記念植樹が行われました。このしゃくなげ園は、俵山大羽山の金川鐵夫さんが40年以上前から自宅の裏山や休耕田で植栽し、現在約5ヘクタールの敷地に170種類が植えられています。記念イベントには来賓や関係

者、一般参加者など約100人が出席しました。代表者記念植樹では、岡田実副知事らが俵山小学校1年生7人と力を合わせてしゃくなげの苗木を植樹しました。その後、一般参加者や関係者らの手によってイロハモミジが約50本植えられました。

民間国連ヤング大使が帰国報告

薬物乱用防止を訴える

4月10日(火)、オーストリア・ウィーンでの国際連合薬物犯罪事務所へ、寄附金を贈呈するために派遣された大津緑洋高校2年の村岡美紀さんが市長室を訪れました。村岡さんは、「これからも多くのボランティア活動をしたいです」と話しました。



日置農村活性化交流センターの入館者が100万人

肌にしっとり、眺めも人気

4月7日(土)、日置農村活性化交流センターの入館者が100万人を達成しました。100万人目の入館者となったのは、岩国市の林美鈴さん一家3人で、大西市長から花束と記念品が手渡されました。林さんは、「お湯がお肌にしっとりしていて、この温

泉はとても気に入っています。また入浴しに來たいです」と話していました。日置農村活性化交流センターは、平成7年4月に開設した温泉を備えた交流施設で、露天風呂は眼下に深川湾が一望できる眺望が人気となっています。



東日本大震災被災地への支援を続けよう!

東北地方太平洋沖地震に係る被災者支援長門市市民会議から

募金の状況 (3月30日現在)

- ◆日本赤十字社山口県支部長門市地区 (市福祉課) 20,510,696円
- ◆山口県共同募金会長門支会 (市社会福祉協議会) 5,199,963円

日本赤十字社、共同募金会とも、募金期間が平成24年9月30日まで延長されました。引き続き温かいご支援をよろしくお願ひします。

物品販売による支援を実施

南三陸町で被災した人たちが製作したきんちゃく袋、マスコット等を、まるごと長門「旬」市場で販売しています。

